

政策評価調書（個別票）

【政策ごとの予算額】

政策名	東京大会を契機とした共生社会の実現、多様な主体によるスポーツ参画の実現				番号	35		(千円)					
	予算科目				他に記載のある 個別票の番号	予算額							
	会計	組織／勘定	項	事項		8 年度 当初予算額				9 年度 概算要求額			
政策評価の対象と なっているもの	一般	文部科学本省	公立文教施設整備費	公立文教施設整備に必要な経費	11	<	68, 195, 174	>	の内数	<	431, 185, 685	>	の内数
	一般	スポーツ庁	スポーツ振興費	共生社会及び多様な主体によるス ポーツ参画の実現に必要な経費			7, 833, 100				18, 541, 087		
	東日本大震災復興特別	復興庁	教育・科学技術等復興事業費	公立文教施設整備に必要な経費	11	<	2, 364	>	の内数	<	2, 453	>	の内数
	小 計				一般会計		7, 833, 100				18, 541, 087		
					<	68, 195, 174	>	の内数	<	431, 185, 685	>	の内数	
				特別会計									
					<	2, 364	>	の内数	<	2, 453	>	の内数	
政策評価の対象と なっていないが、 ある政策に属する と整理できるもの													
	小 計				一般会計								
						<		>	の内数	<		>	の内数
					特別会計								
					<		>	の内数	<		>	の内数	
合 計				一般会計		7, 833, 100				18, 541, 087			
					<	68, 195, 174	>	の内数	<	431, 185, 685	>	の内数	
				特別会計									
					<	2, 364	>	の内数	<	2, 453	>	の内数	

文部科学省事後評価書（政策全般）

（文R7－11－1）

施策	東京大会を契機とした共生社会の実現、多様な主体によるスポーツ参画の実現	担当部局	スポーツ庁健康スポーツ課	担当部局長	中村 宇一（健康スポーツ課長）
施策の概要	多様な主体におけるスポーツの機会創出に向け、地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実と体力向上、体育の授業の充実、運動部活動改革の推進、女性・障害者・働く世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上等に取り組む。 スポーツによる健康増進に向け、健康増進に資するスポーツに関する研究の充実・調査研究成果の利用促進、医療・介護や企業・保険者との連携強化等に取り組む。 スポーツを通じた共生社会の実現に向け、障害者や女性のスポーツの実施環境の整備、国内外のスポーツ団体の女性役員候補者の登用・育成の支援、意識啓発・情報発信等に取り組む。 スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材について、民間・大学も含めた地域スポーツ施設の有効活用の促進、地域スポーツコミッションなど地域連携組織の活用、全N Fでの人材育成及び活用に関する計画策定を促進、女性のスポーツ指導に精通した指導者養成支援等に取り組む。			評価実施時期	令和7年度
政策体系	（別添1）「「文部科学省の使命と政策目標」と第3期スポーツ基本計画との対応表」及び（別添2）「スポーツ分野の政策体系等」のとおり。				
進捗状況	（別添3）「第3期スポーツ基本計画に係る中間評価について」P7、P10、P13、P16の「取組状況」のとおり。				
評価結果	（別添3）「第3期スポーツ基本計画に係る中間評価について」P7、P10、P13、P16の「進捗の分析・課題」のとおり。				
結果の政策への反映状況	<予算要求> 共生社会や多様な主体によるスポーツ参画の実現に向けて、令和8年度概算要求において、Sport in Life 推進プロジェクト（309,783千円）、運動・スポーツ習慣化促進事業（195,519千円）、部活動の地域展開推進事業（3,392,112千円＋事項要求）、令和の日本型学校体育構築支援事業等（429,358千円）、大学スポーツ総合支援事業（219,780千円）、パラスポーツ推進プロジェクト（290,339千円）、日本パラスポーツ協会補助（競技力向上関係を除く）（251,686千円）、全国障害者スポーツ大会開催事業（85,000千円）、体育・スポーツ施設整備（学校施設環境改善交付金等）（5,060,000千円）等を要求した。 <機構・定員要求> 部活動の地域展開に取り組む体制を強化するため、令和8年度機構・定員要求（定員3名）を行った。 <改善等> （別添3）「第3期スポーツ基本計画に係る中間評価について」P8、P11、P14、P17の「今後の施策実施の方向性」のとおり。				
学識経験を有する者の意見	・「Sport in Lifeコンソーシアムの加盟数増加という量の拡大に加え、スポーツエールカンパニーの増加という質の向上が重要」という評価を踏まえ、引き続き施策の推進を図るべき。 ・別添3のP13、P14「子供・若者のスポーツ機会の充実」について、進捗の分析・課題と今後の方向性が重複している論点があり、分析・課題とそれを踏まえた改善等について、より明確に整理されると良いと考える。				
使用した資料その他の情報	令和7年度行政事業レビューシート 政策・施策11-1（ https://rssystem.go.jp/project?policyIds=de2a1819-8a11-4d5a-b2b1-9252760f8fe9 ）				